

# 株式会社共栄金物製作所



専務取締役 明石 真佐臣さん

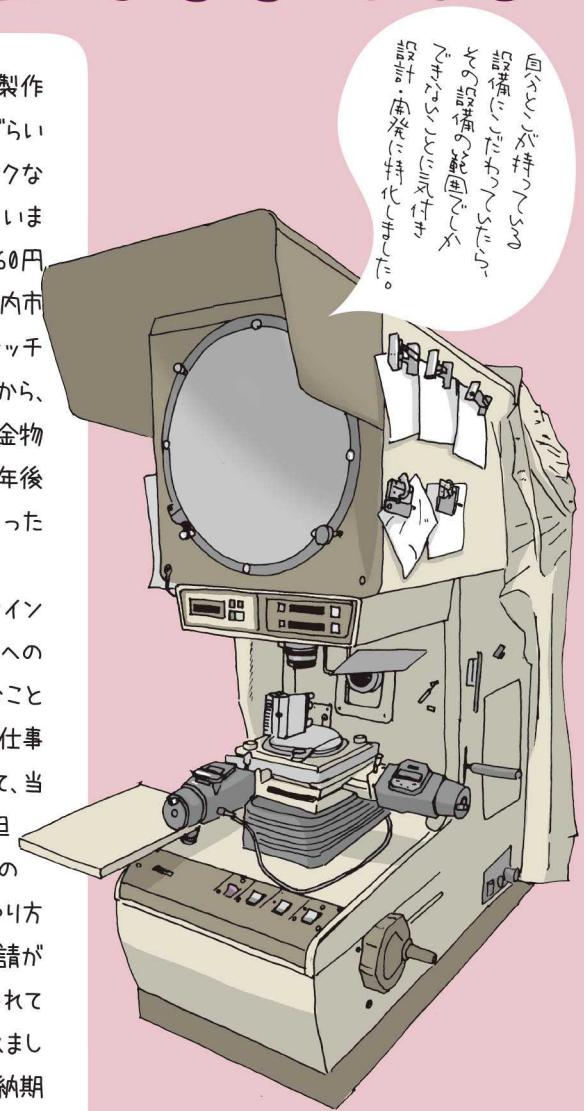
自社で工場を持たず  
協力会社とのコラボでユニークな製品を作りだす



代表取締役社長 明石 和邦さん

当社はかつて、工場の中に金物を製作する設備や機械を持ち、職人も10人くらいおりました。ドアチェーンやサッシロックなどを製造し、主に北米などに輸出していました。その後、急・加速な円高で1ドル360円から180円に。採算が合わなくなり、国内市場にシフトし、家具用のマグネットキャッチやディスプレイ金物を製造。平成元年から、ゲーム機の電池バネを付ける接点の金物を月300万個製造しました。しかし、3年後にはすべて中国に持っていくかってしまったんです。

クライアントの要望に応じて製造ラインを整備しても、コストの安い海外生産へのシフトが始まると仕事が激減。そんなことに振り回されるより、付加価値の高い仕事をすべきだと方向転換しました。そして、当社は企画や図面製作、試作品製造を担当、製造をはじめ自社内でできないものは協力会社に依頼するという現在のやり方を導入しました。発注先から新たな要請があるたびに、協力先が広がり、それにつれて仕事の幅が拡大する好循環が生まれました。おかげさまで今は品質やコスト、納期などすべてにおいて、他社をしのぐ成果を発揮していると思います。



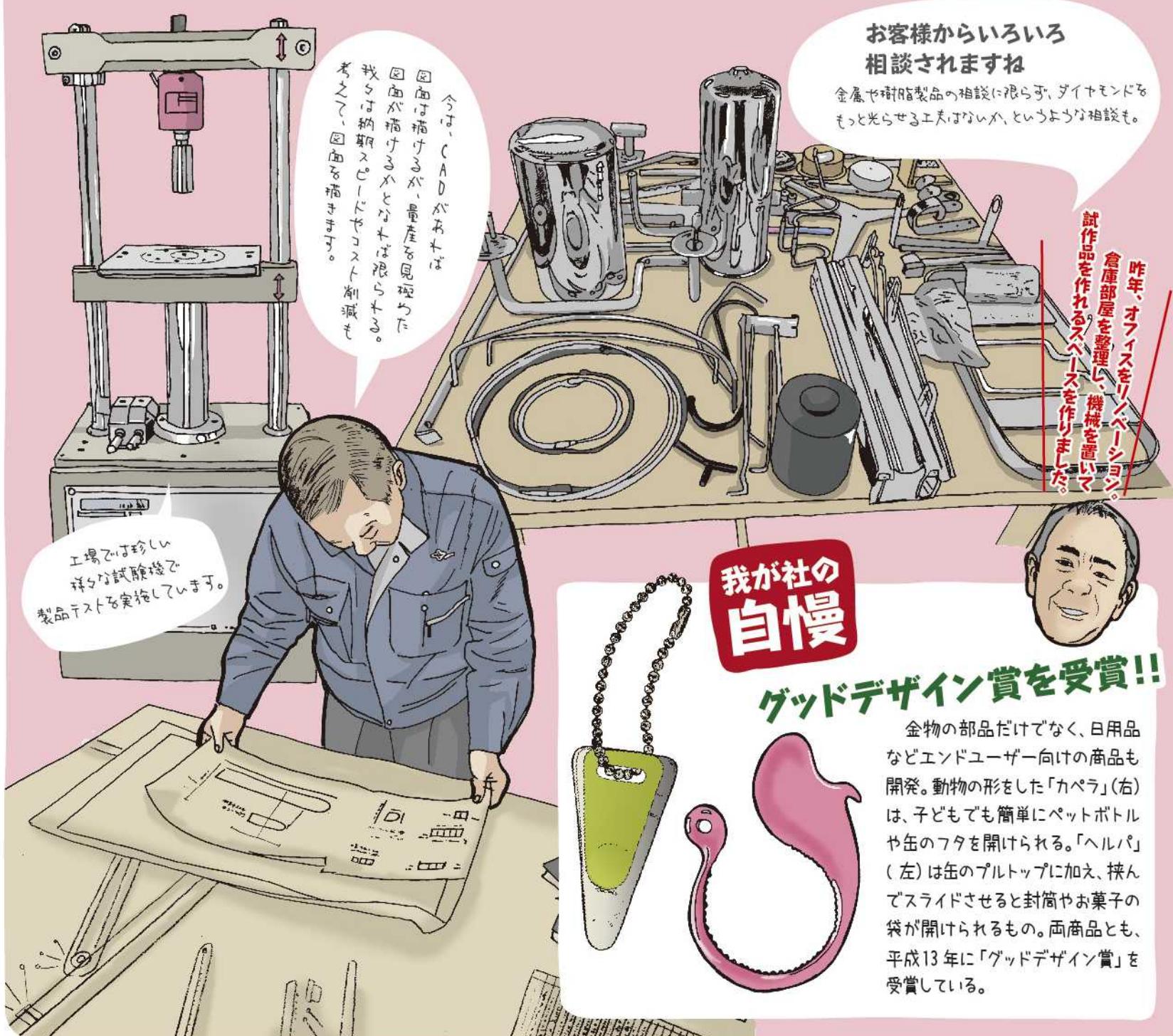
## 専門の協力工場に発注 製造代理業という新しい形

もともと金物問屋としてスタートし、その後、金物製品の製造をスタート。プレス機械や金型を製作する設備なども持つ、普通の工場だったが、現在、同社は工場をもたずにものづくりを行っている。

「アイデアをカタチに」がコンセプト。クライアントの要望に応じて製造だけでなく、企画開発や設計・デザイン、材料選定、試作、加工なども行う。工場をもっていないので、それぞれ必要な工程はそれを専門に行う協力工場に依頼。材料は鉄や非鉄金属だけでなく、プラスチック、磁石、バネ、ゴム、キャスト(鋳造)など広範囲。求めるものに最適な材料を選び、それに応じた加工方法を選択。同社はいわば、クライアントとのつくり協力会社とをつなぐコーディネーターやプロデューサー的な役割を果たす。

現在、同社と提携している協力会社は、400社にせまる勢い。特に、生野区はものづくり集積地として多種多様な技術を持つ職人、企業が多く、やりとりやスピードも早く有利。年間、300案件以上のオーダーが寄せられ、日々、新しいものづくりを進めている。

このような形のモノづくりを進めることで、腕や技術に優れているけれどPRが苦手だったり、経験にこだわらず新しいことに挑戦したいなど、ものづくり企業や職人にとっても可能性が広がる。いち企業、いち職人だけでは不可能なことも、コラボレーションすることで様々なニーズに応えられ、新しい価値を提供できる。一步進んだものづくりの形だと言える。



### 株式会社共栄金物製作所

<http://kyoeikanamono.jp/>  
〒544-0034 大阪市生野区桃谷5-6-22  
TEL 06-6717-2334 FAX 06-6741-7430

事業内容／プレス加工品、精密プレス加工品、プラスチック製品、冷間圧造品、アルミ圧造品、スプリング関係、鋳造(ダイキャスト)品、切削品、線材加工品、アセンブリ部品の設計開発・製造